

ノイキャンも音も

ag

“ちょうどいい”ワイヤレス wireless

「ちょうどいいワイヤレス」をコンセプトにした「ag」に、完全ワイヤレス「UZURA」が登場。
疲れにくいノイズキャンセリングと自然な外音取り込み機能を搭載。
final監修のナチュラルなサウンドで、音楽ファンの普段使いにピッタリ!

文/野村ケンジ Kenji Nomura



ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

ag UZURA

¥OPEN(直販サイト価格¥9,980/税込) ▶投票 No.010



SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver. 5.2 ●対応コーデック:SBC、AAC
●連続再生時間:最大8時間(ケース込み最大22時間) ●質量:約5.4g(イヤホン片側)、約34.8g(ケース部) ●付属品:イヤークリップ(final TYPE E:X/S/M/L/XL)、USB Type-C充電用ケーブル



柔らかな音色ながら低域のフォーカス感良好

軽量コンパクトなイヤホン筐体や、finalが全面監修するサウンドの魅力によって注目の存在となった日本ブランドagから、完全ワイヤレスイヤホン「UZURA(うずら)」が登場した。こちら、人気機種「COTSUBU」をベースに、アクティブノイズキャンセリング(ANC)や外音取り込み機能を追加したアップデートモデル。ANCは便利な反面、モデルによっては圧迫感を覚えることもあるが、UZURAのANCは音質と圧迫感のない心地よさを優先しているのがagならではの。外音取り込みについても自然な聞こえ方となるように調整されている。

イヤホン本体は「3Dフィット設計」によってどんな耳穴でも快適な装着性を実現するという。また、UZURAという名前の由来となった丸みのあるデザインは可愛らしく、専用ケースと同色コーディネートされた粉雪塗装仕上げによって、上品な雰囲気も持ち合わせている。そのほか、充電ケースを開けただけでペアリングを開始する「オートペアリング機能」や、片方のイヤホンをケースに入れば片耳だけで再生する「片耳モード」、充電ケース込みで最大22時間の連続再生時間、IPX4の防滴性能など、実際の使い勝手に配慮された機能性を持ち合わせている。

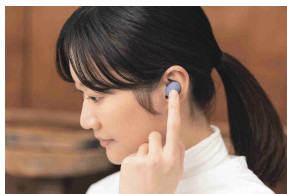
まず、ANCと外音取り込みから試してみる。イヤークリップは完全ワイヤレス用ではなく、オリジナルのfinal「TYPE E」を採用。比較的耳穴の奥まで入るタイプで本来の遮音性が高いため、ANCの効き

はそれほど強くもなく、かといって弱くもない。そのおかげか、耳にツーンとくるような違和感がなく、自然な印象で、長時間装着していても疲れにくい。外音取り込みも自然な音色で好感が持てる。

肝心のサウンドは、聴き心地のよい柔らかな音色が特長。宇多田ヒカルは普段よりもほんの少し優しい歌声を聴かせてくれるし、歪みのある音が特長の米津玄師「KICK BACK」も聴きやすい音になっている。一方、低域は必要十分な量感を持ちつつ、ある程度のフォーカス感が保たれているため、迫力を確保しつつリズム隊の演奏が小気味よい。使い勝手、音質ともに満足のできる良質な製品だ。

CHECK POINT

音質と心地よさを優先したノイズキャンセリング機能



アクティブノイズキャンセリング(ANC)は、時間遅れが発生して低域がこもるなど再生音に影響があったり、圧迫感があることも。そこでUZURAでは、音質と圧迫感のない心地よさを優先したANC機能を搭載。また、外音取り込み機能についても、足音などの本来小さいはずの音を過度に大きくせず、自然な聞こえ方となるように調整されている。